

社会的養護の充実に向けた具体的施策④

(4) 年長児童の自立支援

社会的養護の下で育った子どもは、自立して社会へ巣立っていく際、保護者等から支援が受けられないこと等により様々な困難を抱えていることを踏まえ、以下のような方策を検討することが必要である。

1. 施設における自立支援計画の充実、関係機関における連携等により進学支援、就労支援を強化
2. 自立援助ホームのあり方について検討
3. 施設を退所した後の子どもの相談先として、児童養護施設等における「実家機能」の役割の充実
4. 施設等を退所した子どもたち自身が集い、意見交換等を行う取組の推進
5. 子どもの状況を踏まえつつ、里親や児童福祉施設に措置されている子どもが満20才に達するまで措置を延長できる仕組みの活用